

1 単元 遺跡・史跡巡りの旅をしよう

2 指導の構想

【何ができるようになるか】(単元の目標)

「自分を高める」

- ・遺跡・史跡巡りの旅の目的達成に向けて、自分の役割に責任をもって活動することができる。(自分で決める力)
- ・遺跡・史跡巡りの旅の本番に向けて、自分自身が準備してきたことを信じて活動し、自分の力を最大限に発揮することができる。(自分を発揮する力)

「人とよりよく関わる」

- ・取り組みの過程で生じる諸問題を解決していくを通して、協力することや思いやりの心をもつことができる。(他者意識)

【何を学ぶか】(教材の価値)

(探究課題) 遺跡・史跡巡りの旅を通して、遺跡や文化継承に関わっている方や他校の6年生と歴史や遺跡の内容や価値の捉え方について交流し、久山町にある首羅山遺跡や歴史について探究し、学びを深めるという学習である。

本単元は、首羅山遺跡について学び、歴史や遺跡の価値や大切さを感じるとともに、それらに関わる方と交流する中で感じ、学んだことから自分の生き方を考える学習である。遺跡・史跡巡りの旅では、自分たちで企画・準備し、諸問題を解決しながら自分を高め、人とよりよく関わる力を身につけていく。

【実施するためには何が必要か】(人・もの)

- ・久山町教育員会、歴史研究会の方々と連携
- ・近隣市町にある遺跡や史跡、また遺跡や文化継承に関わっている方々と連携

【道徳との関連】

A-(4)個性の伸長「めざせ、百八十回！」

【どのようにして学ぶか】

総合の単元の流れ [単元計画 (40時間)]

(1) 目標をもつ (8時間)

まず、久山町教育委員会の方と首羅山遺跡の特色について学ぶ。その後、首羅山遺跡の見学を行う。(5月～6月)。そして、首羅山学習について、本年度の活動概要と活動ゴールについて話し合う。

(2) 実践する (28時間)

次に、遺跡や史跡等、旅の途中で見学する目的地を調査し決定する。6年生全体が4つの係(セレモニー係、健康・安全係、食事・生活係、宣伝・記録係)に分かれて準備をする。旅本番は、徒歩で目的地をめざす。近隣市町の遺跡等の見学や他校の6年生と交流する。

(3) 振り返る (4時間) 【本時含む】

最後に、自己の伸びについて振り返る。(作文表現) そしてお世話になった方や学校、関係機関へお礼を言う。・下級生へ報告を行う。関係機関へお礼を伝えることで諸問題を解決しながら自分を高め、人とよりよく関わる力を身に付けていく。

【児童の実態】

本学級の児童は、第5学年の集団宿泊訓練において、学年全体で共通した目標をもち、教師が提示した活動内容をもとに、助言を受けながら自分たちでしおりの作成や道具の準備等を行い、実施することができた。2泊3日の活動を通して、自分たちで考え見通しをもって行動することや状況に応じて臨機応変に行動する必要性を学んだ。

第6学年になり、首羅山遺跡について学んだことを多くの方々に知ってもらうために、遺跡・史跡巡りの旅の実施に向けて、児童が主体となり計画を立て、準備を進めていた。自分の役割に責任をもち、友だちの考えを受け入れながら、目標達成に向けて行動する力を高めることができた。

3 本時

(1) 目標

- 遺跡・史跡巡りの旅を通して、生き方観や郷土観など自己の生き方を探究することができる。

(2) 準備

- ①タブレット端末（教師用） ②大型テレビ ③遺跡・史跡巡りの旅の写真 ④学習プリント

(3) 展開

| 過程 | 学習活動・児童の反応 | 指導の手立て（○）と評価（◇） |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入 5分 | <p>本時の学習課題</p> <p>3日間の遺跡・史跡巡りの旅を通して、「見通しをもって計画を立て、友だちとともに活動に取り組むこと」「友だちの意見を取り入れながら、よりよい方法を考え実践すること」等、旅に向けた準備の段階や旅本番で学んだことがあります。この学びを生かした行動を、継続して行うことができているだろうか。</p> <p>1 学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅に行く前と終えた後を比較すると、行動は変化しているのか。 <p>（めあて） 学びを成長に生かすことができているか見直そう。</p> | <p>○ 学習課題の場面を想起させるために、児童の様子を写真で提示する。</p> |
| 展開 30分 | <p>2 遺跡・史跡巡りの旅での姿を想起させ、自分の意識や行動の変化について話し合う。</p> <p>(1) 遺跡・史跡巡りの旅本番や準備の様子の写真、学習プリントをもとに、振り返った内容について話し合う。</p> <p>(2) 自分の行動が変化したことや日常生活で意識していることを学習プリントに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の係活動を忘れずに責任をもって行うようになった。 <p>3 学びを生かした行動を具体的に考え、全体で意見を交流する。</p> <p>(1) 個人やグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の仕事で常時活動に加え、自分たちで考えた活動を取り入れる。 <p>(2) 全体交流で意見を話し合う。</p> | <p>○ 自分の行動を振り返らせるために、旅を通しての子どもの様子を提示したり、関わってくださった方々の評価・感想を示したりし、旅を終えた後の気持ちや気づきを想起させる。</p> <p>○ 旅での学びを生かす意識をもたせるために、以前の行動との変化を考えさせ、行事を通して成長したことに気づかせる。</p> <p>○ 具体的に行動を考えさせるために、「いつ」「誰が」「どの場面で」等、いくつか視点をもたせる。</p> <p>○ 実際の行動につなげるために、「継続して行うことができるか」「自分（たち）で実行できるか」の観点から考えさせる。</p> |
| 終末 10分 | <p>4 これからの学校生活において、旅で学んだことを自分の行動にどう生かしていくのか、学習プリントに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行に向けて、自分達で考えて計画を立てていきたい。 ・委員会活動で決まった仕事だけではなく、必要な仕事を考えて行動したい。 | <p>○ 学びを自分の生活や生き方につなげるために、全体で出た意見から具体的な行動を書かせる。</p> <p>◇ 自分を高め、人とよりよく関わるためには、経験したことを行動に生かすことが必要であると書くことができたか。〈学習プリント分析〉</p> |